

禁じられた真理：イスラム国新兵募集に米資金

By Stephen Lendman

Global Research, January 30, 2015



これはアメリカの多くの汚い秘密の一つである。ワシントンは密かに、過激なイスラム国や他のタクフィリ (Takfiri) 派テロリストを、募集し、資金を与え、武装させ、訓練し、指令している。

戦っている相手だと言って我々を騙している同じ者たちを、援助しているのだ。ワシントンは彼らを、代理兵として、自分の敵と戦わせている。

オバマがリビアのカダフィと戦っている期間は、特にそうだった。現在は、シリアのアサドに対してそうしている。将来は、まだ誰かわからぬ敵に対してそうするだろう。

イランが、ワシントンの照準に入ってくる可能性が高い。昔からのアメリカの政権転覆計画は今も続いている。

[RT Informational](#)、[Fars News](#)、それに [LiveLeak](#) が、同じニュースを報じている。

<http://rt.com/news/227195-islamic-state-us-funding/>

<http://english.farsnews.com/newstext.aspx?nn=13931109000290>

http://www.liveleak.com/view?i=889_1422480656

Yousaf Al Salafi というのが、そのパキスタン IS 司令官の名だ。

パキスタンに拘留中、彼はアメリカから資金を得ていたことを認めた。1月22日、彼と2

人の仲間がラホールで逮捕された、と AFP は報じた。

その英語新聞 The Express Tribune によれば――

訊問調査中に、アル・サラフィは、自分がパキスタンで、ある組織を運営し、シリアで戦うための若者を募集するための資金を――アメリカ経由で――受け取っていたことを明らかにした。

この情報は、その姉妹版であるウルドゥ語の Daily Express から得られた。これはパキスタンの調査部に近い、ある匿名条件の情報源から出たもので、それによると、アル・サラフィは昨 12 月に逮捕された。

彼は、新兵一人につき、600 ドルもらったと認めている。少なくとも一人の共謀者がいる。それはパキスタン人のイマーム（指導者）らしい。この匿名のソースによると――

アメリカは IS の活動をずっと非難してきたが、不幸なことに、アメリカを通じて手渡される、これらの組織に対する援助を、差し止めることができないでいる。

アメリカは、自分の利益のために、このグループを財政援助しているという印象を払拭しなければならなかった。なぜアメリカは、イラクではこの組織に戦闘を仕掛けるが、シリアではそうしないのか、その理由がわかる。

その石油施設、インフラストラクチャー、穀物サイロ、その他の非軍事的地点が狙われている。何百という一般市民が殺されている。

IS 戦士たちは大部分、無傷でいる。新しい者たちが、トルコ、ヨルダン、それにイスラエルのゴラン高原を通過して、シリアに入っている。

あるパキスタンの安全保障情報によれば、IS の新兵募集が「地方メディアによって数回行われた」。

アメリカとパキスタンの間の外交交渉によってさえ、ここのメディアの記者によると、何百という新兵がパキスタンから輸出されている。

この問題は、ジョン・ケリーが最近、イスラマバードを訪問したとき議論された。

「この問題はまた CENTCOM（米中央指令本部）長ロイド・オースティンが、今月初めイスラマバードを訪問したときにも、取り上げられた」と、ある匿名情報源は言っている。

ロイターの入手した情報では、アル・サラフィは、パキスタン-シリア人、トルコ経由でパキスタンに来た、5か月前に着いた、パキスタン人を基本とする IS 集団を設立した。

地方メディアは、増大する内部 IS の影響力を報じ、IS の旗や落書きが目立つ、ラホールやムルタンで起こった事件を引いている。

昨年、オバマは、イラクやシリアの IS 拠点と言われる場所を爆撃し始めた。ワシントンは不動の地域支配権を欲しがっている。

恐怖による支配が、昔からのアメリカの習慣だ。オバマは、馬鹿ばかしくも IS を「ユニーク」と呼び、「もしほっておいたら、これらのテロリストたちは、この地域を越えて、アメリカにまで及ぶ脅威に膨れ上がるだろう」と言った。

ワシントンの目標には、地域の石油を支配すること、親西欧の傀儡政府を設けること、などがある。

イラクを、北はクルド、中央はバグダッド、南はバスラに分裂させ、この国をより効果的に支配すること。

アサドを追放すること、イスラエルの主要ライバル国をなくすること、彼を親米従僕に置き換えること、イランを孤立させること。アメリカの政権転覆計画の次の番はイランである。

アメリカの暗黒面が世界平和を脅かしている。オバマは、制約のない戦争への議会承認を求めている。何十億ドルの戦費だ。

アメリカの昔からのビジネスは戦争だ。オバマはそれを US “リーダーシップ” と呼び、国際法はそれを明らかな侵略と呼ぶ。

大嘘に基づき、正当な大義もなく、実存的な脅威があるわけでもなく、議会決議を無視して法的立場もない。

国連安保理メンバーだけが戦争を認めることができる。アメリカの、第二次大戦後のすべての戦争が不法な戦争だった。現行の直接および代理の戦争を含めて。計画中の新しいものも

含めて。

戦争はアメリカの好みの戦略による。永久戦争、汚い戦争、残忍な戦争、米軍が簡単に踏み潰せる国家への戦争。

これ以上どれだけの国を、アメリカは荒廃させ、破壊するつもりだろうか？ これ以上どれほどの犠牲者が出るのだろうか？ 戦争は、オバマが辞職しても終わらないだろう。誰でも彼に代わる者が、連綿と継続するだろう、新しい戦争を。

大量殺戮と破壊の終わりを期待することはできない。狂人どもがワシントンという精神病院を経営している間は。

唯一の解決策は非暴力革命だ。それが叶わないときには、継続する死、破壊、それに増大する国内での弾圧しかない。

これはどんな基準から見ても暴政だ。民主主義の仮面をかぶることは、これ以上続かない。アメリカの暗黒面は、あまりにも醜悪で隠すことはできない。

(スティーヴン・レンドマン http://www.liveleak.com/view?i=889_1422480656 は、シカゴ在住。編集者・寄稿者としての彼の新しい本は、“Flashpoint in Ukraine: US Drive for Hegemony Risks WWIII” <http://www.claritypress.com/LendmanIII.html>。彼のブログ・サイトは、<http://sjlendman.blogspot.com/>。Progressive Radio Network で、週に3回、彼のすぐれた論客との鋭い議論を聴くことができる。)